

シュッコンカスミノウ切り花の前処理剤の改善による 日持ちと品質向上効果

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

花き－カスミノウ－その他

2 担当者名

大竹真紀

3 要旨

本県のシュッコンカスミノウ産地では、販路拡大に伴い輸出にも対応できる夏秋期の品質保持対策が求められている。そこで、慣行の前処理剤溶液に品質保持剤(植物成長調節物質含有)を添加して水揚げを行うと茎葉黄化の抑制と蕾の開花促進に効果があることを明らかにした。

- (1) 日持ち調査は、前処理剤(商品名:クリザールかすみ SC30倍)溶液に植物成長調節物質を主成分とする品質保持剤(商品名:クリザールSVB溶解液(1錠/1ℓ)以下、SVB)を添加して水揚げし、10℃で7日間(小売りまでの時間を想定)保管した後に行った。
- (2) SVB添加20倍区、40倍区では、茎葉の黄化を10日間以上抑制する(図1)。
- (3) SVB添加区では蕾の開花が2割以上促進され、観賞価値が向上する(図2)。

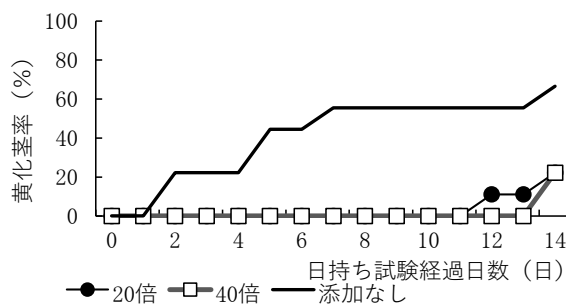


図1 SVB添加濃度と茎葉の黄化
7日間冷蔵保管後の日持ち試験
2020年8月26日日持ち調査開始

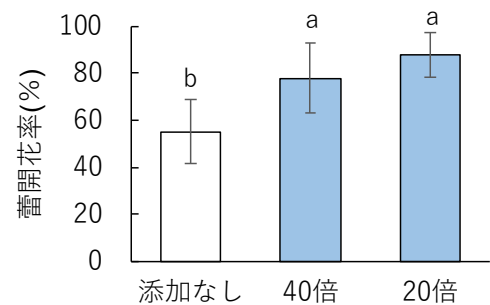


図2 SVB添加濃度と蕾開花率
7日間冷蔵保管後の日持ち試験
2020年8月26日日持ち調査開始14日後
エラーバーは標準偏差

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成31～令和2年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立
シュッコンカスミノウの安定生産技術の確立〔「園芸王国ふくしま」グローバルリンク事業〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 農研機構花き研究所, 日持ち保証に対応した切り花の品質管理マニュアル, 2013.